

## Ⅳ－２ 船員宿泊施設の利用と利用者の概況

### 目 次

A 調査の目的と概要……………	75
B 船員宿泊施設の分布と現況（省略）…	75
C 船員宿泊施設利用の特徴と動向……	75
D 若干のまとめと問題点……………	81

#### A 調査の目的と概要

##### 1. 調査の目的

船員を対象にした福祉施設は、従来の概念による施設内容に限っても、その種類は、つぎのように多種類のものが考えられる。

（宿泊・待合），（医療・保健），（体育・レクリエーション），（購買・衛生など生活・消費），（港湾交通），（教育・文化），（老人・母子）

この調査は、他の調査項目との内容的なつながりや調査の予算および期間の規模の制約から、東京湾をめぐる一部三県の船員宿泊施設の利用状況の調査にしばらくは得なかつた。そこでこれらの船員宿泊施設について、とくに私設・公共などの実施主体別および立地地域別の利用者特性と、利用内容（設備およびサービス）に対する利用者の意見を集約し、今後の施策に参考となる資料を得ることを願った。

しかしながら、この種施設の将来の策定にとって、施設現状の分析は必ずしも必要十分なものではなく、広く関連テーマの調査研究をふまえて再検討さるべき時代にあるものと理解するものである。

##### 2. 調査の方法

a 調査対象 この調査は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県に設けられている、海運大手6社（日本郵船、大阪商船三井船舶、川崎汽船、山下新日本汽船、昭和海運、ジャパンライン）の宿泊施設（会社寮）と船員厚生施設および船員保険寮とその施設を利用した船員または船員家族を対象としたものである。

##### b 調査の配付と回収

これらの宿泊施設のうち24施設には、1施設につき100件分（アンケート用紙100枚）を、（ ）内の会社の4施設には夫々30件分を主として郵送し、施設責任者の協力をえて留置き、施設利用の船員および船員家族を調査した。

##### c 調査の時期

1972年11月～1973年3月  
回答のあった施設のなかから、以下のようにグループに分類して検討する。

1. 会社寮10施設（保養を目的とする2施設は除く）
2. 船員厚生施設6施設
3. 船員保険寮A 3施設
4. 船員保険寮B，（保養を主目的とするもの）4施設

#### B 船員宿泊施設の分布と現況（省略）

#### C 船員宿泊施設利用の特徴と動向

紙面の都合で、アンケートの集計表のみを掲げる。

表-1 所属会社別利用傾向 (問5-2)

(人, %)

	総計		海運大手6社		その他海運		水産		その他		N・A	
会社寮	443	100.0	379	85.6	-	-	-	-	1	-	63	14.2
船員厚生施設	173	100.0	34	19.7	80	46.2	17	9.8	4	2.3	38	22.0
船員保険寮A	221	100.0	40	18.1	49	22.2	110	50.0	1	-	21	9.5
船員保険寮B	308	100.0	73	23.7	148	48.1	35	11.4	3	1.0	49	15.9
総計	1,145	100.0	526	45.9	277	24.2	162	14.2	9	0.8	171	14.9

表-2 船員の職階別利用傾向 (問5-3)

(人, %)

	総計		職員		部員		N・A	
会社寮	443		152	34.3	261	58.9	30	6.8
船員厚生施設	173		64	37.0	76	43.9	33	19.1
船員保険寮A	221		94	42.5	96	43.4	31	14.1
船員保険寮B	308		157	51.0	62	20.1	89	28.9
総計	1,145		467	40.8	495	43.2	183	16.0

表 - 3 目的別利用動向 (問 1)

	総計	乗下船		乗船中の面会		保養観光		新婚旅行		病気療養		その他		N・A
		73	16.5	184	41.5	-	-	-	-	2	182	41.1	2	
会社寮	443	73	16.5	184	41.5	-	-	-	-	2	182	41.1	2	-
船員厚生施設	173	38	22.0	106	61.3	5	2.9	-	-	1	22	12.7	1	-
船員保険寮A	221	114	51.6	87	39.4	2	-	-	-	-	17	7.7	1	-
船員保険寮B	308	28	9.1	20	6.5	232	75.3	9	2.9	9	8	2.6	2	-
総計	1,145	253	22.1	397	34.7	239	20.9	9	0.8	12	229	20.0	6	0.5

(人, %)

表 - 4 利用者の現住地方 (問 5 - ホ)

	総計	関東		九州	四国	中国	近畿	東海	甲信越	北陸	東北	北海道	N・A
		1都3県	その他										
会社寮	443	(2.9)	(2.9)	(16.9)	(5.2)	(12.2)	(19.0)	(4.1)	(6.8)	(9.5)	(14.7)	(0.9)	(5.0)
船員厚生施設	173	(5.8)	(2.9)	(13.9)	(4.6)	(16.2)	(12.7)	(5.8)	(6.4)	(5.8)	(17.3)	(0.6)	(8.1)
船員保険寮A	221	(31.2)	(1.8)	(5.4)	(9.1)	(6.8)	(13.1)	(0.9)	(1.8)	(2.3)	(24.0)	(0.9)	(2.7)
船員保険寮B	308	(48.7)	(2.3)	(4.2)	(2.6)	(1.6)	(9.1)	(9.1)	(2.0)	(13.0)	(1.6)	(1.0)	(4.9)
総計	1,145	(21.1)	(2.5)	(10.8)	(5.2)	(8.9)	(14.2)	(5.1)	(4.5)	(8.5)	(13.4)	(0.9)	(5.0)

(人・())は%

表-5 利用者(船員)の未婚,既婚(問5-1)

(人・%)

	総計	未婚		既婚		N・A
		未	婚	既	婚	
会社寮	443	83	18.7	30.5	68.9	55
船員厚生施設	173	19	11.0	12.8	74.0	26
船員保険寮A	221	39	17.7	14.8	67.0	34
船員保険寮B	308	29	9.4	21.4	69.5	65
総計	1,145	170	14.9	89.5	78.3	180

表-6 利用者(船員)の年齢(問5-ハ)

(人・%)

	総計	才	年齢										N・A													
			19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
会社寮	443	3	-	57	12.9	59	13.3	85	19.2	152	34.3	61	13.8	26	5.9											
船員厚生施設	173	4	2.3	11	6.4	23	13.3	46	26.6	55	31.8	16	9.3	18	10.4											
船員保険寮A	221	8	3.6	20	9.1	41	18.6	38	17.2	70	31.7	32	14.5	12	5.4											
船員保険寮B	308	2	-	29	9.4	44	14.3	48	15.6	96	31.2	64	20.8	25	8.1											
総計	1,145	17	1.5	117	10.2	167	14.6	217	19.0	373	32.6	173	15.1	81	7.1											

表-7 利用者の人数構成 (問4)

(人, %)

	総計	船員単身		家族同伴		家族のみ		N・A	
		223	50.3	183	41.3	28	6.3	9	2.0
会社寮	443	223	50.3	183	41.3	28	6.3	9	2.0
船員厚生施設	173	46	26.6	109	63.0	11	6.4	6	4.1
船員保険寮A	221	112	50.7	93	42.1	6	2.7	10	4.5
船員保険寮B	308	50	16.2	221	71.8	17	5.5	20	6.5
総計	1,145	431	37.6	606	52.9	62	5.4	46	4.0

表-8 施設利用泊数 (問3)

(人, %)

	総計	泊数											N・A										
		1(泊)	2	3	4~7	8~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~												
会社寮	443	71	160	63	142	56	126	95	214	22	50	23	52	7	1.6	7	1.6	9	20	62	14.0	28	6.3
船員厚生施設	173	63	36.4	35	20.2	26	15.0	17	9.8	5	2.9	-	-	1	-	2	1.2	2	1.2	15	8.7	7	4.1
船員保険寮A	221	20	9.1	51	23.1	21	9.5	79	35.8	8	3.6	23	10.4	8	3.6	1	-	-	-	-	-	10	4.5
船員保険寮B	308	125	40.6	103	33.4	36	11.7	30	9.7	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	3.6
総計	1,145	279	24.4	252	22.0	139	12.1	221	19.3	35	3.1	48	4.2	17	1.5	10	-	11	1.0	77	6.7	56	4.9

表 - 9 利用者の人数構成別宿泊数

(人・%)

総	1泊		2		3		4~7		8~10		11~15		16~20		21~25		26~30		31~		N・A			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
会社寮	計	279	24.4	252	22.0	139	12.1	221	19.3	35	3.1	48	4.2	17	1.5	10	0.9	11	1.0	77	6.7	56	4.9	
	船員単身	46	20.6	16	7.2	7	3.1	40	17.9	11	4.9	18	8.1	6	2.7	5	2.2	8	3.6	54	24.2	12	5.4	
	家族同伴	20	10.9	42	23.0	43	23.5	47	25.7	9	4.9	5	2.7	1	0.5	2	1.1	1	0.5	7	3.8	6	3.3	
	家族だけ	5	17.9	3	10.7	6	21.4	6	21.4	2	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	21.4
	N・A	-	-	2	22.2	-	-	2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11.1	4	44.4	
	小計	71	16.0	63	14.2	56	12.6	95	21.4	22	5.0	23	5.2	7	1.6	7	1.6	9	2.0	62	14.0	28	6.3	
船員厚生施設	計	17	37.0	6	13.0	1	2.2	4	8.7	2	4.3	-	-	-	-	2	4.3	2	4.3	12	26.1	-	-	
	船員単身	38	35.2	24	22.2	25	23.1	11	10.2	3	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.9	6	5.6	
	家族同伴	4	44.4	2	22.2	-	-	2	22.2	-	-	-	-	1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	家族だけ	4	44.4	2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22.2	1	11.1
	N・A	4	44.4	2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小計	63	36.4	35	20.2	26	15.0	17	9.8	5	2.9	-	-	1	0.6	2	1.2	2	1.2	15	8.7	7	4.0	
船員保険寮A	計	9	8.0	32	28.6	8	7.1	43	38.4	-	-	19	17.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.9	
	船員単身	6	6.5	13	14.0	12	12.9	35	37.6	8	8.6	4	4.3	8	8.6	-	-	-	-	-	-	-	7	7.5
	家族同伴	4	66.7	1	16.7	1	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	家族だけ	1	10.0	5	50.0	-	-	1	10.0	-	-	-	-	-	-	1	10.0	-	-	-	-	-	2	20.0
	N・A	1	10.0	5	50.0	-	-	1	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20.0
	小計	20	9.5	51	24.2	21	10.0	79	37.4	8	3.8	23	10.9	8	3.8	1	0.5	-	-	-	-	-	-	
船員保険寮B	計	27	54.0	8	16.0	3	6.0	7	14.0	-	-	1	2.0	1	2.0	-	-	-	-	-	-	3	6.0	
	船員単身	83	37.6	84	38.0	30	13.6	17	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3.2	
	家族同伴	9	52.9	4	23.5	-	-	3	17.6	-	-	1	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	家族だけ	6	30.0	7	35.0	3	15.0	3	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5.0	
	N・A	6	30.0	7	35.0	3	15.0	3	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5.0	
	小計	125	40.6	103	33.4	36	11.7	30	9.7	-	-	2	0.6	1	0.3	-	-	-	-	-	-	11	3.6	

## D 若干のまとめと問題点

この調査は調査期間が正月をはさんでおり、海運経営の転換も影響したためか、宿泊施設の利用実態は、かなり変動しているようである。調査期間の長さや回答施設数および最大最小回答数が示すように、また回答をうる期間は宿泊施設によってかなり異なっているため、調査の結果は十分なものとはいえないが、傾向的にみた若干のまとめと問題点をあげれば次のようになる。

船員宿泊施設の利用形態は、実態的にみると①停泊中に船員が単身または家族同伴で休養や面会のため宿泊するもの、②休暇中または停泊中に船員が単身または家族同伴（あるいは家族のみ）で保養や観光のために宿泊するもの、③社宅の代りや講習・社内教育、試験などのため宿泊するものに大別される。会社寮の場合は、主に①および③であり、船員厚生施設や船員保険寮Aは、主に①および②である。また船員保険寮Bは②であり、休暇中が主になる。この最後の場合を除いて、どの施設の場合も港に近い立地が要求されており、一応距離的にはその条件を満たしている。しかしながら交通機関の利用という点では全てが便利というわけではなく、必ずしも距離の近さが港との間の所要時間を短くしているとは限らない。またそうした立地は応々にして環境に恵まれているといえない場合もある。立地条件の全てを満たす施設の在り方は、公害の問題なども考えた場合、建物の構造ともかかわる問題であるが、むつかしい問題であろう。また保険寮Bでも、それを停泊中に利用する傾向も少なくなく、港に近い立地が望まれているが、関東地方では必ずしも容易ではないだろう。

接岸する場所がふえ、港域が拡大し、船員の上陸地点が多くなるにつれて、従来の施設だけでは、上の条件を満足させることができにくくなっている。遅れないような新しい施設の設置や交通問題の解決も望まれている。

設備については、全体的にみて古い施設よりも新しい施設が評判がよいようである。表10。改良を考えて新設するのであるから当然であろうが、古い施設の場合も増築、改築等で新施設に劣らぬ設備に改善しているものもある。娯楽室や娯楽用具、子供の遊び場などを持つことが望まれるが、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、ホットなどといった比較的こまかい、室内備品は絶対に欠かせないようである。一口でいえば、家庭生活の延長として過せる場、あるいは他の人との干渉が断たれ1人になれる場が強く望まれている。したがって、個室、バス・トイレつき、外部の騒音や話し声がきこえないといったことが部屋の条件となる。こうした設備については、ある限界内であれば食事やサービスの良さで補いうるようである。

食事やサービスは、個々人の好み、そのときの生理的条件あるいは人間関係に関することであり、また利用経験、利用頻度にもかかわることでもあるから、一概に論ずることはできない。一般に食堂よりも各部屋で食事をできることがよるこばれている。そのこと自体に一つの家庭性があるわけであるから、それは当然といえよう。料理の内容については、必ず料金との見合を考えているが、もう少し値上げしても内容のよいものをという考え方が現われているのは、それが相対的なものであるにしても、料金別払にしても自由に選択できる品数が少しほしいとか、家庭的な料理をとかいう要望とともに、解

決の方途の見出せる問題であろう。

サービスについては、きわめて評価が高い。管理者および従業員の応待態度は全般に好ましいことがうかがえる。通常でもそうであるが、特に子供連れで家庭の延長という生活を必要とする船員家族の場合、サービスに対する反応は鋭いようである。このことは上述の①②の利用形態において特に強いものがあるようである。

宿泊施設の利用は、1都3県にみる限り船員厚生施設や船員保険寮の場合は、中小海運会社の船員および船員家族、あるいは漁船船員やその家族が多い。寮という自己福祉施設を有している海運大手6社に比較して中小海運会社、漁

業会社は、主に公共福祉施設に依存している傾向が大きい。

宿泊施設の利用は35才～44才層の家族同伴者が最も多い。この年齢層がおそらく1人～2人の子供を持つ3～4人の家族構成と考えるのは容易であろう。そして宿泊数は1～2泊が圧倒的に多くなっている。船員家族の家庭外における家庭生活は、このような実態であり、それがさけられないものとしてある現状では、ただたんに家族と一緒に宿泊できさえすればよい、という施設の条件はもはや条件たりえないといえよう。(小石泰道・玉井克輔)

表 - 10 宿泊施設の評価傾向(問7)

	宿 泊 施 設	会社寮	船員厚生施設	船員保険寮A	船員保険寮B	計
会 社 寮	神戸山手荘(商船三井)	23	2	-	2	※ 27
	横浜山王山寮(日本郵船)	6	-	1	-	7
	横浜鶴見寮(昭和海運)	8	-	-	-	8
	横浜保土ヶ谷寮(川崎汽船)	8	-	-	-	8
	横浜鶴見寮(山下新日本)	9	-	-	-	9
	東京麴町寮(商船三井)	6	-	-	-	6
	横浜山元荘(商船三井)	12	-	-	-	12
	横浜三ツ沢寮(日本郵船)	17	-	-	-	17
船 員 厚 生 施 設	境泉北海員会館	8	6	-	3	※ 17
	名古屋船員会館	4	14	2	5	※ 25
	横浜船員セッター	3	17	2	3	25
	神戸大倉山海員会館	7	9	2	5	※ 23
	千葉海員会館	2	5	-	1	8
	長崎船員会館	3	2	-	2	※ 7
	川崎海員会館	1	4	-	1	6
	横浜海員会館	4	9	3	-	16
東京晴海海員会館	1	-	4	1	6	



	東京海員会館	1	6	-	-	7
船 員 保 険 寮	有馬船員保険寮 (兵庫)	4	1	-	8	※ 13
	鳴子 " (宮城)	3	2	-	7	※ 12
	日南 " (宮崎)	3	1	-	1	※ 5
	宝塚 " (兵庫)	7	1	4	7	※ 19
	白浜 " (和歌山)	6	3	2	11	※ 22
	雲仙 " (長崎)	3	1	3	3	※ 10
	別府 " (大分)	4	2	1	11	※ 18
	指宿 " (鹿児島)	3	1	4	4	※ 12
	境港 " (鳥取)	-	1	-	5	※ 6
	千葉 " (千葉)	4	-	21	3	28
	熱海 " (静岡)	4	1	1	11	17
	登別 " (北海道)	3	-	2	8	※ 13
	大沢 " (岩手)	2	1	-	3	※ 6
	三崎 " (神奈川)	-	-	9	-	9
	玉野 " (岡山)	2	-	2	4	※ 8
	下田 " (静岡)	3	1	1	33	38
	箱根 " (神奈川)	7	-	1	58	66
	和倉 " (石川)	3	-	1	23	27
	岩国 " (山口)	1	1	6	2	※ 10
	三角 " (熊本)	5	-	-	3	※ 8
浅虫 " (青森)	2	-	-	3	※ 5	

注1. 「いままでに気に入った施設」としてあげられた施設で、利用者5人以上が指摘したものの。 ※は調査対象でないもの。